



全性の確保と耐震性の向上を図るための住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、戸別住宅耐震診断事業およびアスベスト調査分析事業を継続して取り組みます。また、公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した町営住宅の整備について、その具現化をめざします。

定住促進施策の一環として、継続事業として空き家バンクに登録した空き家リフォーム助成、引越しおよび家財撤去費の助成を行うとともに、下水道職員住宅を移住体験住宅としてリフォーム整備し、移住希望者の体験宿泊や空き店舗および遊休農地などの情報発信を行い、町外はもとより県外からの移住者の受け入れを行う移住定住促進プロジェクト事業の充実を図ります。



住民自治を支える行政運営の推進

行政運営には、必要性、計画性、実行性、継続性、創造性が重要と考えます。

第二次氷川町総合振興計画で示したまちづくりの基本方針および各種施策を着実に遂行するためには、財源が必要でありますので、創意工夫による財源の確保と堅実な財

政運営を図ってまいります。

町行政のすべての事務事業の評価を行いましたので、評価結果を精査し、今後の効率的な行政運営と適正な人事管理の構築に活用します。

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆さまとの対話と協調が重要であります。町政懇談会を工夫して実施するとともに、情報を共有する必要がありますので、出来る限りの情報提供に努めてまいります。

堅実な行財政運営を行うためにも、行政改革プランの進捗状況を確認し、漸次必要な見直しを図りつつ、その計画に基づいた改革を確実に実践するとともに、漸次検証を行い更なる改革を進めてまいります。

さらに効率のよい機能

的な行政組織とするため、公共施設の管理運営計画に基づき、適正な施設管理と効率的な運用に努めるとともに、その原動力である役場機構の改革と職員の能力開発にも尽力してまいります。

大空町との友好関係も大切にしてまいりたいと考えております。人材交流および物産の相互交流を活発にし、友好の絆を深めてまいります。

氷川町未来まちづくり政策研究会では、地域連携協定を結んでおります同志社大学を始め、宮崎大学その他大学と連携して、調査・研究並びに政策提言が行われており、これから様々なテーマで調査研究を進めてまいります。

以上、5つのまちづくり戦略を平成30年度の町政運営の基本方針として、

熊本地震からの復旧復興を最優先に置きつつ、安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な田園都市・氷川町の創造をめざして、職員とともに全身全霊を傾注して、緊張感を持って取り組んでまいりますので、町民各位のより一層のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



2/15

第2次氷川町総合振興計画案を答申

小さなまちで、大きな幸せを感じる「田園都市・氷川」

町では、平成28・29年度の2ヶ年をかけて、町の将来像やまちづくりの基本的な方向性を示す「第2次氷川町総合振興計画」の策定作業を進めてきました。この計画は、平成30年度から10年間の行政運営の指針となるものです。第4回氷川町総合振興計画策定審議会で計画案がまとまり、上田健一審議会会長から町長へ答申が行われました。

まちの将来像を「小さなまちで、大きな幸せを感じる『田園都市・氷川』」と掲げ、氷川の水や田園、里山など自然豊かな環境にありながら、広域交通の利便性や医療・教育などの多様な機能を備えたコンパクトなまちをイメージし、安心して暮らすことができ、幸せを実感できる持続可能な氷川町を目指すものです。

総合振興計画は、基本構想および基本計画、さらに15項目の重点プロジェクト



で構成されています。平成19年度に策定した第1次計画をもとに見直しを行うとともに、本町を取り巻く社会情勢の変化や熊本地震を踏まえ新たな事業を取り入れ、更なる町の発展を目指します。

2/24

人権の大切さを考える

氷川町公民館大会・人権啓発集会

文化センターにおいて平成29年度氷川町公民館大会・人権啓発集会が行われ139人の参加がありました。

生涯学習活動報告、人権作品の表彰が行われたほか、今年度は人権に関する講演会として、NPO法人とともに拓くLGBTIQくまもと代表今坂洋二さんによる講演が行われ、LGBTに関する社会の様々な課題や現状について貴重な話を聞くことができました。



▲人権について考える貴重な時間となりました

2/25

元気に活動

第13回氷川町子ども会大会

文化センターにおいて、第13回氷川町子ども会大会が開催されました。開会行事では、今年度他模範となる活動を実施した早尾、東上宮、上有佐子ども会が表彰され、事例発表が行われました。続いて御船高等学校書道部による書道パフォーマンスがおこなわれ、特大サイズの紙に音楽に合わせて掛け声を上げながら文字を書いていきました。やがて完成し、大歓声が沸き起こりました。その後は子どもたちに対して書道指導があったり、ミニゲームをしたりと大盛り上がりの一日となりました。



▲力強い作品